

試験によく出る「教授法」と関連する情報をまとめました！

◆文法訳読法(GTM)

読解力

F on Fs

※演繹的指導

◆ナチュラル・メソッド ==>(後に)直接法 => 会話能力の習得 ※帰納的指導

- サイコロジカル・メソッド (グアン) → 山口喜一郎 ※台湾で日本語教育
(グアン式)直接法…動作しながら目標言語を説明
- ベルリッツ・メソッド (ベルリッツ) ※絵カード、レアリア、ジェスチャー

媒介後を
用いない

◆オーラル・メソッド (パーマ)

※口頭で

※PPP (提示 → 基本練習 → 応用練習) 直接法の基本パターン

※絵カード、レアリア、ジェスチャー

※長沼直兄が日本語教育に普及させた

※「聞く」「話す」(重視) → 「読む」「書く」へ

媒介後
OK

◆GDM (ゲシュタルト心理学)

※簡単なものから難しいものへ段階的にステップUP

◆ASTP(アーミー・メソッド)

※ 刺激 - 反応

音声重視

※音源・ドリルマスター(機械的な練習)

◆オーディオ・リンガル・メソッド (フリーズ) → ※制限作文アプローチ (正確に書く)

・パターンプラクティス (文型練習)

F on Fs

・反復練習・代入練習・変形練習・応答練習・拡張練習

・ミム・メモ練習 (講師のモデルをまねる) ※形式重視

・ミニマル・ペア (1か所だけが違う) ※構造シラバス

・ナチュラルスピードが求められる (ティーチャートークのみは×)

・ドリルマスター (機械的な練習)

・代入練習・統合練習・拡大練習…

言語知識の体系的な習得

コミュニケーション能力×

<ヒューマンリスティックな教授法>

◎サイレント・ウェイ (ガッテーニョ)

※講師は沈黙 ・サウンドカラー、ロッド、カラーチャート

◎CLL (カラン)

(コミュニティ・ランゲージ・ラーニング)

※心理学 ・先生はカウンセラー、生徒はクライアント

※クラスの不安を取り除く

※直接法ではない!(母語OK) 後行シラバス

◎TPR (アツシャー)

※【全身反応教授法】

聴解優先

◎サジェストペディア (ロザノフ)

※リラックス(クラッシング音楽)・コンサートセッション

◆ **コミュニカティブ・アプローチ**(CA) **★伝わればOK!**(意味重視)

・タスク練習 ・ロールプレイ ・ディスカッション ・ディベート

F on M

・概念・機能【(依頼・断る・誘う・謝る・助言)する】シラバス

・3つの伝達過程

①情報差(インフォメーションギャップ) ②選択権 ③反応(フィードバック)

◆ **TBLT**(タスク中心の教授法)

F on F

・意味交渉

①明確化要求 ②確認チェック(「～ですか」(確認)) ③理解チェック(「わかりますか?」)

・課題シラバス

【タスク】言語使用以外の何らかの目的を達成するためにコミュニケーションする活動

◆ **ナチュラル・アプローチ** (テレル・クラッシェン)

F on M

※初級者向け

・話題シラバス

聴解優先

・5つの仮説【クラッシェン】

- ① 習得-学習 仮説
- ② 自然順序 仮説
- ③ モニター 仮説
- ④ インプット仮説
- ⑤ 情報フィルター